



月が木星、金星に接近



天空が広がるうぶやまの高原は、厳しい残暑も終わり、秋の気配を感じさせる高原の涼しい風が吹いています。宵の西空には夏の星座が見え、それを追いかけるように秋の星座が東から昇ってきます。9月は月に注目しましょう。

9月の星空情報の第2弾は、9月16日から20日にかけて月が木星と金星に相次いで接近する天文現象です。9月16日の20時頃に月と約4度まで近づいた木星が、17日の深夜0時過ぎに東の空から昇ってきます。22日の新月に向けて、細くなっていく月と -2.1 等級の木星が並んで見えるでしょう。

また、9月19日から20日にかけては、夜明け前の東の空低く、 -4 等級の金星と新月前の非常に細い月が並びます。19日の夜はカナダなどで月に金星が隠される金星食が起こりますが、残念ながら日本ではまだ月が昇っていない時間になるため、見ることはできません。東京では、2時31分で、3度ほど離れて昇ってきます。東の方角が見晴らしの良い場所で観察してみましょう。



月が木星、金星に接近